

⑫ 鉱業報国 横堀治三郎君碑



昭和 17 年 5 月 27 日横堀工学博士顕彰会によって建立。裏には昭和 32 年 6 月 25 日頌徳碑
移建の言葉が刻まれている。もともと石碑は千葉寺にあった。茂原公園内の整備されるにいたって
移築された。最大巾 145cm 高さ 356cm 厚み 19.2cm

正四位勲三等工学博士横堀治三郎君碑

君ハ千葉県長生郡茂原町ノ人明治四年三月廿日ヲ以テ生ル資性雋敏剛毅深ク学ヲ好ミ夙ニ千葉
中学校第一高等学校ニ学ビ更ニ東京帝国大学ニ進ミテ採鉱冶金学ヲ修メ後同大学工科大学助教
授海軍機関学校教授京都帝国大学理工科教授ニ歴任シテ秋田鉱山専門学校長ニ転シ開校未タ日
浅キ同校ノ経営発展ニ専心努力スルコト八年余同校今日ノ隆盛ハ全ク君ノ功績ニ帰セスンハア
ル可ラス君ハ欧米各国ヲ巡歴スルコト前後数次又第五回内国勸業博覧会審査官鉱毒調査委員京
都帝国大学評議員ニ選ハレ或ハ三井三菱両会社ノ鉱山事業ニ参画シ又衆望ヲ担ヒテ立法府ニ列
スル等本邦鉱業ノ発達ニ貢献スル所允ニ顕著ナルモノアリ其官職ヲ去リタル後モ自ラ鉱業界
ノ木鐸ヲ以テ任シ内地ハ勿論遠ク台湾樺太朝鮮滿州ニ至ル迄凡ソ地下資源ノ存スル所足跡ヲ印
セサルハナク就中千島列島及台湾東海岸砂金鉱踏査ニ当リテハ老軀ヲ挺シ幾多ノ困難ト危険
トヲ顧ミス人跡未踏ノ山河ヲ跋涉シテ倦ムコトヲ知ラス其熱烈ナル研究心ト絶倫ナル精力トハ
実ニ驚嘆スヘキモノアリシカ不幸病魔ノ犯ス所トナリ昭和十三年五月二十七日遂ニ溘焉トシテ長
逝セリ享年六十有八嗚呼君ハ採鉱冶金学ノ泰斗トシテ学徳共ニ高ク其高潔ナル人格ハ滅私奉公
唯国利民福アルヲ知リテ他ニ余念ナク又慈父愛ヲ以テ後進ヲ指導スルコト多年現今学界ニ雄
飛セル逸材ヲ其門下ヨリ輩出セシモ亦宜ヘナリト謂ツヘシ今ヤ我カ国ハ大東亜共栄圏確立ノ途
上ニ在リテ鉱産資源ヲ要スルコト今日ヨリ急ナルハナク今後大イニ君ノ雄図ニ期待スル所切ナ
ルモノアル秋ニ方リ君既ニ亡シ痛惜何ソ禁ヘン哉爰ニ我等同志胥謀リ君ノ偉蹟ヲ貞珉ニ勤シ
以テ其ノ遺風ヲ永ク後昆ニ伝フルモノナリ

昭和十七年三月上澣

海軍大将正二位勲一等功三級男爵鈴木貫太郎篆額

枢密顧問官正二位勲一等子爵石井菊次郎撰